

第14回日本エイズ学会 特別教育セッション

Interactive Session

症例から学ぶHIV感染症診療のコツ

座長：青木 眞

Daniel R. Kuritzkes

岩本 愛吉

症例 1: 初診

- STDクリニックでのスクリーニング中HIV感染が判明した21歳男性
- 初診時現症
 - 自覚症状なし
 - 身体理学所見は正常
 - WBC 4300
 - CD4 細胞数 487 cells/ μ L
 - ウイルス血清 HIV-1 RNA 量 7,360 (3.87 log₁₀) copies/mL

症例 1: あなたならどうしますか?

● 1. ZDV/3TC/EFVで治療を開始する
 **5%**

● 2. d4T/ddI/IDVで治療を開始する
0%

● 3. ZDV/3TC のみで治療を開始する
0%

● 4. d4T/ddI のみで治療を開始する
0%

● 5. 治療の選択肢について患者とよく話し合いCD4 細胞数とウイルス量を再検査し翌月の外来予約を行い経過観察する

 **95%**

症例 1: 経過観察

- STDクリニックでのスクリーニング中HIV感染が判明した21歳男性
- 初診時現症
 - 自覚症状なし
 - 理学所見は正常
 - WBC 4300
 - CD4 細胞数 487 cells/ μ L
 - ウイルス血清 HIV-1 RNA 量 7,360 (3.87 log₁₀) copies/mL
- 6ヶ月の経過観察の後
 - CD4 細胞数 350 cells/ μ L
 - ウイルス血清 HIV-1 RNA 量 35,400 (4.55 log₁₀) copies/mL



症例 1: この時点であなたならどうしますか?

- 1. ZDV/3TC/NFV で治療を開始する
21%
- 2. d4T/3TC/EFVで治療を開始する
58%
- 3. ZDV/3TC/ABCで治療を開始する
13%
- 4. d4T/ddI/NVPで治療を開始する
0%
- 5. d4T/3TC/SQV/RTVで治療を開始する
8%

症例 2: 初診

- STDクリニックでのスクリーニング中HIV感染が判明した23歳男性
- 初診時現症
 - 寝汗、体重減少
 - 口腔内鰐口瘡
 - WBC 3200
 - CD4 細胞数 154 cells/ μ L
 - ウイルス血清 HIV-1 RNA 量 129,000 (5.11 log₁₀) copies/mL

症例 2: この時点であなたならどうしますか?

- 1. ZDV/3TC/NFVで治療を開始する
 **19%**
- 2. d4T/3TC/EFVで治療を開始する
 **45%**
- 3. ZDV/3TC/ABCで治療を開始する
 **5%**
- 4. d4T/ddI/NVPで治療を開始する
0%
- 5. d4T/3TC/SQV/RTVで治療を開始する
 **31%**

症例 3





- STDクリニックでのスクリーニング中HIV感染を指摘された25歳男性
- 初診時
 - 自覚症状なし
 - 理学所見は正常
 - WBC 4300
 - CD4 細胞数 362 cells/ μ L
 - ウイルス血清 HIV-1 RNA 量 33,000 (4.52 log₁₀) copies/mL
- ZDV/3TC/NFVで治療を開始
 - 治療開始4週間後のウイルス血清 HIV-1 RNA 量 249 (2.40 log₁₀) copies/mL
 - 吐気, 下痢が出現

症例 3 (続き)

- 下痢はloperamideでコントロール
- ZDVをd4Tに変更
- 血液検査

日付	HIV-RNA 量	CD4細胞数
98年10月 5日	33,000	362
98年10月 9日	31,600	371
98年11月 7日	249	..
98年12月21日	<50	451
99年 9月11日	2,300	551
99年 9月25日	7,200	501

症例 3: あなたならどうしますか?

- 1. 現在の治療を注意深く続ける
 **18%**
- 2. ウイルス量の測定をもう一度行う
 **8%**
- 3. 耐性検査をする
 **71%**
- 4. d4T/ddI/NFVに変更する
0%
- 5. 占いにたよる
 **3%**

症例 3: その後

- 遺伝子型耐性検査が施行された
 - PR : 野生型
 - RT : M184V





症例 3: この時点であなたならどうしますか？

- 1. 現在の治療を注意深く続ける **39%**
- 2. ABC/ddI/EFVに変更する **6%**
- 3. D4T/ddI/RTV/IDVに変更する **32%**
- 4. D4T/ddI/NFVに変更する **23%**
- 5. 現在の治療薬を継続したままABCを追加する **0%**

症例 4

- 23歳男性HIV感染者
 - 治療開始前 ウイルス血清 HIV-1 RNA 量 75,000 c/mL
 - 治療開始前 CD4 細胞数 230 cells/ μ L
 - AZT/3TC/IDVで治療が開始された
- 治療開始16週までにウイルス血清 HIV-1 RNA 量は<50 copies/mL
- 8ヶ月後、ウイルス血清 HIV-1 RNA 量は16,000 c/mL
- 勤務スケジュールの関係で日中の薬を飲み忘れてしまうと患者はいう

症例 4: あなたならどうしますか?

- 1. アドヒアランスが良くなるように患者をカウンセリングするが、処方の変更しないでそのまま
 **24%**
- 2. d4T/ddI/NFVに治療を変更する
 **2%**
- 3. d4T/ddI/EFVに治療を変更する
 **29%**
- 4. 耐性検査を行う
 **45%**
- 5. 占いにたよる
0%

症例 4: その後

- 遺伝子型の耐性検査の結果
 - PR : 全て野生型
 - RT : M184V

症例 4: この時点であなたならどうしますか?

- 1. d4T/ddI/ IDVに変更する
3%
- 2. d4T/ddI/NFVに変更する
5%
- 3. d4T/ddI/EFVに変更する
41%
- 4. 少量のRTVを加えてIDVを1日2回に変更、逆転写酵素阻害薬はそのまま (AZT/3TC)
5%
- 5. 少量のRTVを加えてIDVを1日2回に変更、逆転写酵素阻害薬はd4T/ddIに変更
46%

症例 5

- 49歳女性 HIV感染者
- 初回治療は AZT/3TC/IDV(1995)
 - 消化器症状のためにAZTは中止
 - 疼痛コントロールにmethadoneを必要とするほどの重篤な末梢神経障害がd4Tにより出現
- IDV 単剤治療 (96-97)
 - ウイルス血清 HIV-1 RNA 量 12,650 ($4.10 \log_{10}$) copies/mL
 - CD4細胞数 325 cells/ μ L

症例 5 (続き)




- ABC/SQV/RTVに変更

- ウイルス量は <50 c/mLに減少
- 末梢神経障害が更に悪化したためABCは中止
- RTVのカプセルの代わりにリキッドが供給されていた間は治療は中断
- ウイルス血清 HIV-1 RNA 量 $47,320$ ($4.68 \log_{10}$) c/mL
- CD4 細胞数 283 cells/ μ L
- 遺伝子型: PR 32V, 46I, 82A, 90M ; RT 184V

- ZDV/3TC/EFVで治療を再開

- 色々な副作用が出現し症状悪化したため、再び治療を中断
- ウイルス量は 650 c/mLに減少したが、再び $43,520$ c/mLに上昇
- CD4 細胞数は 340 に上昇したが、その後 298 に減少
- 表現型: PI 感受性; NRTI 感受性; NNRTI 耐性

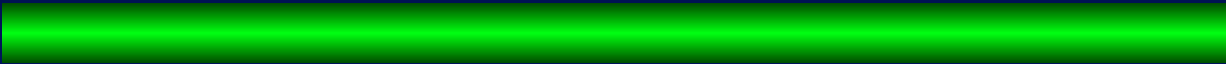




症例 5: あなたならどうしますか?

- 1. ddI/ABC/RTV/APVを開始する
 **16%**
- 2. ZDV/3TC/RTV/IDVを開始する
 **6%**
- 3. ZDV/3TC/RTV/lopinavir (ABT378)で開始する
 **32%**
- 4. ZDV/3TC/delavirdine/NFVで開始する
 **3%**
- 5. 治療を再開せずに注意深く経過観察を続ける
 **43%**

症例 6

- d4T/3TC/IDVで3年間の治療された34歳男性HIV感染者
 - 血清 HIV-1 RNA量は<50 copies/mL
 - CD4細胞数 640 cells/ μ L
- 最近になって、胴回りが太くなってきたと感じるようになり顔がやせ、足が細くなったと訴えるようになった
 - コレステロール 320 mg/dL
 - 中性脂肪 710 mg/dL
- 易疲労感、筋肉痛、何となく体調が悪い感じが出てきたと感じている
 - 血中乳酸値は 6.2 mM (基準値 0.4–1.8 mM)

症例 6: あなたならどうしますか?

- 1. すべての抗ウイルス療法を中止する
 **34%**
- 2. d4T/ddI/ABCに治療を変更する
 **21%**
- 3. AZT/3TC/NFVに治療を変更する
 **24%**
- 4. EFV/RTV/SQVに治療を変更する
 **6%**
- 5. EFV/RTV/SQVに治療を変更し、高脂血症治療剤 (pravastatinなど)を追加する
 **15%**